

国際日本学研究科

2026年度 大学院学生募集要項

博士前期課程入学試験

一般入学試験

外国人留学生入学試験

社会人特別（一種）入学試験

3年早期卒業予定者入学試験

博士後期課程入学試験

一般入学試験

外国人留学生入学試験



●2026年1月21日 更新

P17.18 博士後期課程の試験時間に誤りがあったため修正しました。

目次

【人材養成その他の教育研究上の目的】	3
【入学者受入方針】	3
【教育課程編成・実施方針】	4
【学位授与方針】	5
1. 入学試験日程一覧.....	7
2. 入学試験 博士前期課程	8
3. 入学試験 博士後期課程	15
4. 出願書類一覧.....	19
5. 出願手続	21
6. 入学試験当日の注意.....	34
7. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項.....	34
8. 合格発表	35
9. 入学手続	35
10. 問い合わせ先	37
11. 授業時間帯について	37
12. 大学院奨学金制度について	37
13. 「明治大学教育振興協力資金」について	38
14. ビザ（査証）について	38
15. 入学諸費用等について	39
16. 中野キャンパスへのアクセス	40

出願書類に関して偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。また、当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めません。すでに合格した本学の当該年度入学試験がある場合は合格を取り消し、入学していた場合は入学を取り消します。

なお、この取り扱いに伴う入学検定料、学費等の返還は一切行いません。不正行為が認められた場合、警察等の公的機関に、被害届を提出する等の対応があります。

出願および入学手続にあたり提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部については、明治大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、同業者に対して、提出していただいた個人情報を提供することができます。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、明治大学における入学者選抜及び教育改善のための調査に利用します。あらかじめご了承ください。明治大学では、入学手続時の学籍処理ならびに入学後の統計処理等における必要性から、性別情報の取得は必要最小限に留め、限られた範囲で慎重に取り扱います。

【人材養成その他の教育研究上の目的】

【国際日本学研究科】

国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指します。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていきます。

【国際日本学専攻】

国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、日本社会・産業システム研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーします。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指します。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学の発展に寄与しうる柔軟で堅固な基礎を持つ研究者を養成します。

【入学者受入方針】

【博士前期課程】

国際日本学研究科博士前期課程の目的は、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ってよく理解するとともに、異文化や多様な社会システムに対する理解力をもち、さらに自らの意思を的確に表現できる、国際社会で広く活躍できる主体性を備えた実務者・教育者・研究者等を養成することです。そこで、次のような学生を積極的に受け入れます。

- (1) 国際日本学分野における研究を遂行するのに必要な知識と能力を身に付けることができ、かつそのための努力を惜しまない者。
- (2) 自分自身の問題意識との関係において、従来の学問体系を踏まえて、さらに学際性をもつ研究を行うことを目指す者。
- (3) すでに言語教育に携わっている者、また、公的機関、N P O、N G O、民間企業等の各種団体に属する者をはじめとする社会人で、自己の職業上の体験から、問題の本質を見極めたい、あるいは少しでも実際に役立てることのできる問題解決法を探りたいと希望しており、当研究科を修了した後には、その成果を自己の職業に生かすことを目指す者。
- (4) 自国の文化や社会システムと比較しつつ日本の文化や社会システムについて研究することを目指す留学生。

以上の求める学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験を実施し、これらの資質や意欲を個別または総合的に判断するための入学者選抜を行います。

なお、事前に修得しておくべき知識等の内容・水準は、以下のとおり求めます。

- (1) 国際日本学に関連した研究推進に不可欠な知識と能力。
- (2) 既存の学問分野のみならず新たな研究分野を構築しようとする強い意欲をもつこと。
- (3) 日本文化を理解し、さまざまな言語や表現手法を用いて世界に発信・紹介できる能力。

【博士後期課程】

国際日本学研究科博士後期課程においては、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ってよく理解するとともに、異文化や多様な社会システムに対する理解をもち、さらに自らの意思を的確に表現することができる、国際社会で広く活躍できる主体性を備えた人材、とりわけ国際日本学の発展に寄与しうる柔軟で堅固な基礎を持つ研究者を養成することを目的としています。この目的に沿う次のような学生を積極的に受け入れます。

- (1) 国際的視野で物事を考えることができる資質や能力を備えた者。
- (2) 自分自身の問題意識との関係において、従来の学問体系を踏まえて、さらに学際性をもつ研究を専門的に行うことを目指す者。
- (3) 本研究科の研究分野に関連する学問分野、または学際的分野において、研究者として自立することができる優れた博士論文を完成させるのに足る十分な知的能力と計画性を有する者。

以上の求める学生像に基づき、留学生、社会人を区別せず、博士論文作成に必要な能力、資質及び計画性を保持しているかを判断するために、入学者選抜を行います。

なお、事前に修得しておくべき知識等の内容・水準は、以下のとおり求めます。

- (1) さまざまな言語や表現手法を用いて、研究内容を議論し、発表できる能力。
- (2) 自らの追及する研究テーマについて国際日本学との関連性を明確に位置づけ、客観的に理解できる能力。
- (3) 留学生においては、出身国と日本との交流を促進させる強い意欲があること。

【教育課程編成・実施方針】

【博士前期課程】

国際日本学研究科博士前期課程の教育理念・目標である、「日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ってよく理解するとともに、異文化や多様な社会システムに対する理解力をもち、さらに自らの意思を的確に表現できる、国際社会で広く活躍できる主体性を備えた実務者・教育者・研究者等の養成」を実現するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成します。

- (1) 人文科学と社会科学を相互浸透的に捉えて認識し、その認識に基づき的確に行動し得る能力を構築するために、本研究科の研究領域として、ポップカルチャー研究、日本社会・産業システム研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究の6つの研究領域を設置します。これら6つの研究領域の研究を概観し、それぞれの研究方法を理解するために、研究領域横断的に展開する必修科目を設置し、自身の研究領域とは異なる領域への理解を深め、視野を広げ、自身の研究領域を相対化します。また、大学院生が主体となった研究発表会や修士学位論文の「中間報告会」を複数回実施し、様々な研究領域に属する教員や大学院生から助言を受け、ともに議論する機会を設けます。
- (2) 日本研究と国際研究を複合的に捉え、国際的な視野で物事を考え、表現することができる資質や能力を習得するため、海外の大学等と協定を締結し、訪問・招聘事業を行うと共に、交換留学生を積極的に受入れます。
- (3) 現実社会や様々な学術分野で生じている新たな課題を発見し、その課題解決方法を探る資質や能力を習得するため、学外機関や各界の実務者・教育者・研究者を招いて行う講義に加え、多様なフィールドワーク等により、理論と実践を組み合わせた研究を行います。

(4) これらの方針を踏まえ、学生が主体性を持って課題を広く深く考察し、それについて独自な知見を提示することが可能となるように、修士学位論文作成に向けて個別的指導を行います。

【博士後期課程】

国際日本学研究科博士後期課程では、国際日本学の発展に寄与しうる柔軟で堅固な基礎を持つ研究者を養成するため、自らの関心にしたがって学際的・国際的に学ぶことができる環境を整えています。博士後期課程で学ぶ研究テーマは、より具体的で高度なものとなり、それに伴って、より広い視野と深い知識が必要となります。カリキュラム編成に関する教育・研究の特色は以下のとおりです。

- (1) 人文科学と社会科学の諸分野を相互に関係付け、学際的に研究を展開できる資質や能力を向上させるために、本研究科の研究分野として、ポップカルチャー、社会・情報・国際関係、言語・国際交流、文化・思想の4つの研究分野を設置します。研究分野の区分なく相互に学び、学術交流を図るために、大学院生が主体となった研究発表会を実施し、自らの研究を高めることを目指します。また、博士学位論文の作成過程では、「中間報告会」を複数回実施し、様々な研究分野の教員や大学院生からの助言を受け、ともに議論を深める機会を設けます。さらに、学会発表や学術論文等の執筆の指導を通して、学術界での活動を支援します。
- (2) 国際的な視野を養い、世界に通用する学術的に高い水準の研究成果を発信することができる能力を習得するため、海外の大学等と協定を締結し、訪問・招聘事業、国際シンポジウム等の国際的学術交流の機会を設けると共に、博士学位を有する研究員を積極的に受け入れ、大学院生との共同研究発表会を展開していきます。
- (3) 日本社会、国際社会や様々な学術分野で生じている新たな課題の深層を探究し、その課題解決に貢献する資質や能力を習得するため、国内外の研究教育機関との連携や、各界の専門家との協働等を通じ、研究成果を社会へ還元できるよう、理論と実践を組み合わせた研究を行います。
- (4) これらの方針を踏まえ、博士学位論文作成に向けて、研究に必要な知見を体系的に身に付け、独創的な研究成果を提示し、各研究分野の発展に寄与するように、研究指導グループの下、個別的指導を行います。

【学位授与方針】

【博士前期課程】

国際日本学研究科博士前期課程は、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ってよく理解するとともに、異文化や多様な社会システムに対する理解力をもち、さらに自らの意思を的確に表現できる、国際社会で広く活躍できる主体性を備えた実務者・教育者・研究者等を養成することを目指しています。

この目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに修士学位論文から、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に対して修士（国際日本学）の学位を授与します。

- (1) 人文科学と社会科学を相互浸透的に捉え、国際日本学として研究できる資質や力。
- (2) 日本研究と国際研究を複合的に捉え、国際的視野で物事を考え、表現することができる資質や能力。
- (3) 現実社会や様々な学術分野で生じている新たな課題を発見し、その解決方法を探る資質や能力。
- (4) 課題を広く深く考察し、それについて独自な知見を提示する資質や能力。

【博士後期課程】

国際日本学研究科博士後期課程は、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ってよく理解するとともに、異文化や多様な社会システムに対する理解をもち、さらに自らの意思を的確に表現することができる、国際社会で広く活躍できる主体性を備えた人材、とりわけ国際日本学の発展に寄与しうる柔軟で堅固な基礎を持つ研究者を養成することを目的としています。

この目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、学業成績及び博士学位論文審査に合格し、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に対し博士（国際日本学）の学位を授与します。

- (1) 人文科学と社会科学の諸分野を相互に関係付け、学際的に研究を展開できる資質や能力。
- (2) 国際的視野で物事を考え、国際的水準で表現することができる資質や能力。
- (3) 日本社会、国際社会や様々な学術分野で生じている新たな課題の深層を探究し、その課題解決に貢献する資質や能力。
- (4) 研究課題について本質を究明し、体系的な知見を持ち、独創的な成果を提示し、学術分野に貢献する資質や能力。

1. 入学試験日程一覧

	博士前期課程		博士後期課程
入試期	I期	II期	II期
入試種別	一般 外国人留学生 社会人特別（一種）	一般 外国人留学生 社会人特別（一種） 3年早期卒業予定者	一般 外国人留学生
入学検定料 納入期間 (日付印有効)	6/25(水)～7/9(水)	11/19(水)～12/3(水)	11/19(水)～12/3(水)
出願期間 (日付印有効) ※海外から出願する 場合は必着	7/4(金)～7/9(水)	11/28(金)～12/3(水)	11/28(金)～12/3(水)
入学試験日 (筆記試験)	9/26(金)	2/18(水)	2/18(水)
入学試験日 (面接試問)	9/27(土)	2/19(木)	2/19(木)
合格発表 日時・場所	9/30(火) 午前10時 国際日本学研究科 ホームページ	2/21(土) 午前10時 国際日本学研究科 ホームページ	2/21(土) 午前10時 国際日本学研究科 ホームページ
入学手続締切日	11/28(金)	3/10(火)	3/10(火)

【面接試問について】

筆記試験当日の夕刻に、国際日本学研究科ホームページ上で筆記試験の合格発表を行います。

面接試問は、筆記試験合格者のみに実施します。

面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。

2. 入学試験 博士前期課程

① 研究領域について

本研究科博士前期課程には、以下の 6 つの研究領域があります。出願の際は、必ず希望指導教員の所属する研究領域を以下から選んで出願してください。

(1) ポップカルチャー研究領域

日本の漫画・アニメ・ゲームなどの海外への訴求力には目覚ましいものがありますが、それらの特性・歴史・発展可能性等について、表現・メディア・社会・制度・産業など多面的な視座から研究します。

(2) 日本社会・産業システム研究領域

近年、ICT（情報通信技術）や AI（人工知能）を筆頭とするデジタルテクノロジーの革新と進歩によって、人々の暮らしは大きく変わっています。そしてまた、企業活動はますます高度化・複雑化し、社会の組みも多様化の様相を呈しています。この研究領域では、日本における消費行動や企業活動、産業構造、そしてその総体としての社会システムのダイナミズム、すなわちその変化や動態を研究します。より具体的には組織の在り方と企業文化、日本の経営やものづくり、日本の流通システム、広告、情報産業およびクリエイティブ産業などを対象として、実践的・理論的な諸問題を考察します。

(3) 多文化共生・異文化間教育研究領域

この領域では、多様な人々が共に生きる社会づくりについて研究します。

グローバル化の進展の中で、外国からの労働者や留学生そして移民など多様な文化背景を有する人々が増加しています。また、地域社会や学校、大学あるいは企業における多様性（個性、ジェンダー、障がい等）もより重視されるようになりました。

本領域では、そうした変化がもたらす課題を研究します。外国人に関する課題、生活背景の違いなどの多様性（世代やジェンダー）、地域における多様な主体の協働のあり方、多様性から知を生み出す学習環境デザイン/テクノロジー活用、異文化体験が人間の成長・発達にどのように影響するか、多文化共生をめざす教育の実践とは何かなどが、研究の問い合わせになります。

(4) 日本語学・日本語教育学研究領域

日本文化の基礎である日本語そのものの深い研究を行うとともに、日本語教育に必要な知識と技能を修得することを視野に入れた研究を行います。

(5) 英語教育学研究領域

社会言語学、心理言語学、第二言語習得理論、言語活動研究、言語政策研究、メディア研究など、これまで個別に研究が行われていた学問分野の垣根を超え、包括的に英語教育を科学していきます。

(6) 文化・思想研究領域

広い視野の中に自分の関心を位置づけて研究を行うことを目指すところに、この領域の特徴があります。時代の区分、言語や宗教の違いを超えて、文字文化のみならず視覚文化や身体文化にも注目しつつ、自分にとって本当に面白いもの、大切なものを探ししましょう。

② 募集人員

全ての研究領域・入試種別・各期の合計で 20 名

③ 語学能力証明書の提出について

受験区分が一般、外国人留学生、社会人特別（一種）、3 年早期卒業予定者（本学国際日本学部の卒業予定者は除く）の方は、筆記試験当日から過去 2 年以内に受験した、次表の語学能力試験の成績証明書・スコアシート等 1 通を出願時に提出しないと、原則として受験を認めません。提出された成績証明書・スコアシート等は、本研究科が定める方法により点数換算を行い、入学試験の合否判定に利用します。

■提出可能な語学能力証明書（いずれか 1 つ）

入学試験 受験区分	外国語 種別	有効な証明書	提出に当たっての注意事項
一般	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC (L&R) Official Score Certificate (550 点以上) ・ TOEFL-iBT Official Score Report (42 点以上) (Paper Edition を含む) ・ 実用英語技能検定試験 (2 級以上) ・ IELTS (Academic Module) Overall Band Score (4.0 以上) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受験予定の筆記試験当日から過去 2 年以内に受験した成績証明書が有効です。 2. 当該成績証明書は出願期間内に提出してください。出願期間を過ぎての提出は無効です。 3. 左記以外の成績証明書の提出は無効です。 4. 英語については、顔写真のない成績証明書の提出は無効です (実用英語技能検定試験除く)。 5. 母国語が英語 (または独語、仏語) である者、および高等教育機関 (大学以上) において英語 (または独語、仏語) のみで学位取得できるコースで学位を取得した者 (見込み含む) は提出不要です。(但し、当該学位課程の使用言語を証明する書類を提出してください。)
外国人留学生			
社会人特別 (一種)			
3 年早期卒業 予定者	独語	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドイツ語技能検定試験 (2 級以上) ・ ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験 (B1 レベル以上) 	
※本学国際日本 学部生は除く	仏語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用フランス語技能検定試験 (準 2 級以上) ・ フランス語学力資格試 (DELF) / フランス語上級学力資格試験 (DALF) (B1 レベル以上) 	

※詳細については、25 ページ「語学能力試験のスコア関係書類 (博士前期課程志願者のみ)」をご確認ください。

④ 日本語能力について（出願の条件）【日本国外の国籍を有する者（特別永住者を除く）】

日本の大学・大学院を卒業・修了せず外国の大学・大学院のみを卒業・修了 (見込みを含む) した者は、国際交流基金と日本国際教育支援協会共催の 2023 年度以降の「日本語能力試験 (N1)」に合格するか、または、日本学生支援機構が実施する 2024 年度から 2025 年度「日本留学試験」の「日本語」科目で、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が 270 点以上、「記述」が 30 点以上を取得することが、出願の条件になります。

日本の大学・大学院のいずれかを、日本語で授業を受けて、卒業・修了 (見込みを含む) した者は免除します。但し、「日本語学・日本語教育学研究領域」を志願する者は、日本の大学・大学院を日本語で授業を受けて、卒業・修了 (見込みを含む) した場合でも、「日本語能力試験」または、「日本留学試験」の出願の条件を満たすことが必須となります。

ア. 日本語能力試験 (N1) を受験した場合

出願書類とともに、日本語能力試験 (N1) の「認定結果及び成績に関する証明書」の原本、または「合否結果通知書」、「認定書」のいずれかの原本とコピーを提出してください。

※提出された成績のうち、「合否結果通知書」または「認定書」の原本は筆記試験日に返却します (「認定結果及び成績に関する証明書」については返却しません)。

イ. 日本留学試験の「日本語」科目を受験した場合

出願書類とともに、日本留学試験の「成績確認書」または「成績通知書（原本とコピー）」を提出してください。「成績通知書」の原本は筆記試験日に返却します。

(1) 一般入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

- ① 大学を卒業した者及び 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣が指定した者
- ⑨ 各研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者（注 1）（注 2）

注意事項

注 1) 学士学位を授与された者（学位取得証明書を提出できる者）は、⑨に記載の個別の入学資格審査を受ける必要ありません。

注 2) 出願資格のうち、⑧または⑨に該当するかどうかが不明な者は、中野教務事務室までお問い合わせください。個別の入学資格審査が必要と判断された場合、Ⅰ期入試は 6 月 20 日（金）・Ⅱ期入試は 11 月 14 日（金）までに下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

- ・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ・通常の出願書類一式
- ・その他研究科が必要と認める書類

② 試験科目・時間割

試験場：中野キャンパス 高層棟

時 間 専 攻	1 日目	2 日目
	1 時限（11：00～12：00）	
国際日本学	筆記試験（専門科目） ※研究領域ごとに出題 (希望指導教員の所属する研究領域の問題を必ず解答すること)	面接試問

注意事項

1. 辞書の持込み・使用は認めません。
2. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
3. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
4. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。

（2）外国人留学生入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

日本国外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～④のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（注 1）
- ② 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 日本において、外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ④ 各研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者（注 1）（注 2）（注 3）

※初等中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

注意事項

- 注 1) 国際日本学研究科博士前期課程では、「学士学位」又はその上位に相当する学位を取得していること、または 2026 年 3 月 31 日までに取得する見込みであることが出願要件となります。
- 注 2) 学士学位を授与された者（学位取得証明書を提出できる者）は、④に記載の個別の入学資格審査を受ける必要はありません。
- 注 3) 出願資格のうち、④に該当するかどうかが不明な者は、中野教務事務室までお問い合わせください。個別の入学資格審査が必要と判断された場合、Ⅰ期入試は 6 月 20 日（金）・Ⅱ期入試は

11月14日（金）までに下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

- ・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ・通常の出願書類一式
- ・その他研究科が必要と認める書類

② 受験ビザ取得について

38ページ「ビザ（査証）について」を参照してください。

③ 試験科目・時間割

試験場：中野キャンパス 高層棟

専攻	時 間	1日目	2日目
		1 時限（11:00～12:00）	
国際日本学		筆記試験（専門科目） ※研究領域ごとに出題 (希望指導教員の所属する研究領域の問題を必ず解答すること)	面接試問

注意事項

1. 辞書の持込み・使用は認めません。
2. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
3. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
4. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。

(3) 社会人特別（一種）入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

次の(1)及び(2)の資格を備えた者

(1) 出願時に次の条件のうち、一つ以上を満たしている者

- ① 大学を卒業した者（卒業見込みは不可）
- ② 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注 1）

(2) 2026 年 4 月 1 日入学時に次の諸条件を満たしている者

- ① 満 28 歳以上の者
- ② 特定の専門分野に関心をもち、適切かつ明確な研究テーマをもつ者

注意事項

注 1) 出願資格のうち、(1)-(3)に該当するかどうかが不明な者は、中野教務事務室までお問い合わせください。個別の入学資格審査が必要と判断された場合、Ⅰ期入試は 6 月 20 日（金）・Ⅱ期入試は 11 月 14 日（金）までに下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

- ・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ・通常の出願書類一式
- ・その他研究科が必要と認める書類

② 試験科目・時間割

試験場： 中野キャンパス 高層棟

時 間 専 攻	1 日目	2 日目
	1 時限（11：00～12：00）	
国際日本学	筆記試験（小論文） ※研究領域ごとに出題 (希望指導教員の所属する研究領域の問題を必ず解答すること)	面接試問

注意事項

1. 辞書の持込み・使用は認めません。
2. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
3. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
4. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。

(4) 3年早期卒業予定者入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

出願時に本学において学部 3 年次に在籍し、次の条件をすべて満たしている者

- (1) 2 年次（または 4 セメスター）修了時点において、卒業要件単位を 82 単位以上修得している者で、そのうち 80% 以上が「S」、「A」（と同等）以上の評価である者
または、GPA が 3.20 以上である者
- (2) 3 年早期卒業予定者である証明書を提出できる者

② 入学資格

3 年早期卒業予定者入学試験の合格者で、次の条件をすべて満たしている者

- (1) 3 年早期卒業し、かつ卒業時に卒業要件単位の 80% 以上が「S」、「A」（と同等）以上の評価である者
または、GPA が 3.20 以上である者
- (2) 入学手続期限までに、本研究科への入学手続が完了している者

③ 試験科目・時間割

試験場： 中野キャンパス 高層棟

専攻	時 間	1 日目	2 日目
		1 時限（11：00～12：00）	
国際日本学		筆記試験（専門科目） ※研究領域ごとに出題 (希望指導教員の所属する研究領域の問題を必ず解答すること)	面接試問

注意事項

1. 本学国際日本学部 3 年早期卒業予定者は筆記試験を免除します。
2. 辞書の持込み・使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
4. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
5. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。

3. 入学試験 博士後期課程

① 募集人員

5名

② 第1次試験について

第1次試験として論文審査を行います。

論文審査のための提出書類	① 論文等 ② 論文等の要旨 ※作成年月日を明記した論文等（最大3編。修士論文を含めることができます。）のコピー各3部を、提出してください。 ※論文を公表している場合は、公表媒体も明記してください。
国際日本学研究科博士前期課程修了見込者について	本大学院 国際日本学研究科 博士前期課程修了見込者については、在籍時の修士学位請求論文の審査が第1次試験を兼ねます。 従って、修士論文および修士論文の要旨の提出は必要ありません。
合格通知	受験票の送付をもって、第1次試験に合格したものとします。

③ 第2次試験について

第2次試験（筆記試験、面接試問）は、第1次試験合格者のみ受験することができます。

第2次試験の面接試問受験の際は、第1次試験で提出した論文等を各1部持参してください。

④ 日本語能力について（出願の条件）【日本国外の国籍を有する者（特別永住者を除く）】

日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、国際交流基金と日本国際教育支援協会共催の2023年度以降の「日本語能力試験（N1）」に合格するか、または、日本学生支援機構が実施する2024年度から2025年度「日本留学試験」の「日本語」科目で、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が270点以上、「記述」が30点以上を取得することが、出願の条件になります。

日本の大学・大学院のいずれかを、日本語で授業を受けて卒業・修了（見込みを含む）した者は免除します。但し、「言語・国際交流分野」のうち「日本語学・日本語教育学」を専門とする教員による研究指導を志願する者は、日本の大学・大学院を日本語で授業を受けて、卒業・修了（見込みを含む）した場合でも、「日本語能力試験」または、「日本留学試験」の出願の条件を満たすことが必須となります。

ア. 日本語能力試験（N1）を受験した場合

出願書類とともに、日本語能力試験（N1）の「認定結果及び成績に関する証明書」の原本、または「合否結果通知書」、「認定書」のいずれかの原本とコピーを提出してください。

※提出された成績のうち、「合否結果通知書」または「認定書」の原本は筆記試験日に返却します。
（「認定結果及び成績に関する証明書」については返却しません）。

イ. 日本留学試験の「日本語」科目を受験した場合

出願書類とともに、日本留学試験の「成績確認書」または「成績通知書（原本とコピー）」を提出してください。「成績通知書」の原本は筆記試験日に返却します。

（1）一般入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ④ 日本国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（注 1）
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者（注 1）（注 2）
- ⑧ 各研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（注 1）（注 2）

注意事項

注 1) 出願資格のうち、⑥、⑦に該当する者、⑧に該当するかどうかが不明な者は、中野教務事務室までお問い合わせください。個別の入学資格審査が必要と判断された場合、11 月 14 日（金）までに下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

- ・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ・通常の出願書類一式
- ・その他研究科が必要と認める書類

注 2) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。あるいは

は、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

② 第 2 次試験科目・時間割（第 1 次試験合格者のみ受験可）

試験場： 中野キャンパス 高層棟

専攻	時 間	1 日目	2 日目
		1 時限（11：00～12：10）	
国際日本学		英 語 (希望指導教員の担当する研究分野の問題を必ず解答すること)	面接試問

注意事項

1. 本大学院国際日本学研究科博士前期課程・修士課程修了者（修了見込者）が出願する場合については、筆記試験を免除します。ただし、受験の時点で修了後 3 年を経過している場合は、この限りではありません。
2. 辞書の持込み・使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
4. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
5. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。
6. 面接試問の際に論文等を各 1 部持参してください。

（2）外国人留学生入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）まで問い合わせてください。

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～③のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む）を授与され、外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ② 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む）を授与され、日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 各研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（注 1）

※初等中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。

出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

注意事項

注1) 出願資格のうち、③に該当するかどうかが不明な者は、中野教務事務室までお問い合わせください。個別の入学資格審査が必要と判断された場合、11月14日（金）までに下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

- ・「出願資格審査申請書」(本学の指定様式)
- ・通常の出願書類一式
- ・その他研究科が必要と認める書類

| ② 受験ビザ取得について

38ページ「ビザ（査証）について」を参照してください。

| ③ 第2次試験科目・時間割（第1次試験合格者のみ受験可）

試験場： 中野キャンパス 高層棟

専 攻	時 間	1 日 目	2 日 目
		1 時限 (11:00~12:10)	
国際日本学		英 語 (希望指導教員の担当する研究分野の問題を必ず解答すること)	面 接 試 問

注意事項

1. 本大学院国際日本学研究科博士前期課程・修士課程修了者（修了見込者）が出願する場合については、筆記試験を免除します。ただし、受験の時点で修了後3年を経過している場合は、この限りではありません。
2. 辞書の持込み・使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することは認めません。
4. 筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。
翌日の面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。
5. 面接試問の詳細は筆記試験時に指示します。
6. 面接試問の際に論文等を各1部持参してください。

4. 出願書類一覧

出願書類の記入方法は、21 ページの「出願書類の記入方法」を参照してください。

(1) 博士前期課程

入試種別	提出書類	ダウンロード	自分で用意	21 ページから の出願書類記入 方法の該当番号
一般	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	入学志願書	<input type="radio"/>		②、④
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	卒業（見込）・修了（見込）証明書、成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ		<input type="radio"/>	⑨
	語学能力試験のスコア関係書類 ※8~9 ページ参照		<input type="radio"/>	⑭
	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯
外国人 留学生	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	外国向け送金依頼書の控えのコピー ※海外送金者のみ		<input type="radio"/>	③
	入学志願書（外国籍用）	<input type="radio"/>		②、⑤
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	卒業見込・修了見込証明書 ※現在、在学中の志願者のみ		<input type="radio"/>	⑧
	成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ		<input type="radio"/>	⑨
	経費支弁方法計画書	<input type="radio"/>		⑩
	パスポートのコピー		<input type="radio"/>	⑪
	在留カードの表面・裏面コピー		<input type="radio"/>	⑫
	語学能力試験のスコア関係書類 ※8~9 ページ参照		<input type="radio"/>	⑭
	日本語能力試験又は日本留学試験の関係書類 ※9 ページ参照。		<input type="radio"/>	⑮
社会人 特別 (一種)	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯
	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	入学志願書	<input type="radio"/>		②、④
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	卒業・修了証明書、成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	学位取得証明書 ※外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ		<input type="radio"/>	⑨
	語学能力試験のスコア関係書類 ※8~9 ページ参照		<input type="radio"/>	⑭
3 年 早期 卒業 予定者	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯
	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	入学志願書	<input type="radio"/>		②、④
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	3 年早期卒業予定証明書 ※所属学部事務室で相談のこと		<input type="radio"/>	⑯
	成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	語学能力試験のスコア関係書類 ※8~9 ページ参照		<input type="radio"/>	⑭
	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯

※ 一般・社会人特別（一種）・3 年早期卒業予定者入試志願者であっても、日本国外の国籍を有する者（特別永住者を除く）は、外国人留学生入試と同じ書類を提出してください。

- ※ 出願資格審査を受ける必要のある者は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入のうえ出願書類と一緒に提出してください。
- ※ 過年度に本研究科入試を受験された方や今年度Ⅰ期・Ⅱ期共に受験される方でも各回の入試ごとに証明書をご提出ください。

(2) 博士後期課程

出願書類の記入方法は、21ページの「出願書類の記入方法」を参照してください。

入試種別	提出書類	ダウンロード	自分で用意	21ページからの出願書類記入方法の該当番号
一般	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	入学志願書	<input type="radio"/>		②、④
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	推薦書 ※他大学・他研究科からの志願者のみ		<input type="radio"/>	⑦
	卒業（見込）・修了（見込）証明書、成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ		<input type="radio"/>	⑨
	論文等、論文等の要旨※本研究科博士前期課程の修了見込者は不要		<input type="radio"/>	⑬
	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯
外国人留学生	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	<input type="radio"/>		①、②、③
	外国向け送金依頼書の控えのコピー ※海外送金者のみ		<input type="radio"/>	③
	入学志願書（外国籍用）	<input type="radio"/>		②、⑤
	研究計画書（国際日本学研究科所定書式）	<input type="radio"/>		⑥
	推薦書 ※他大学・他研究科からの志願者のみ		<input type="radio"/>	⑦
	卒業見込・修了見込証明書 ※現在、在学中の志願者のみ		<input type="radio"/>	⑧
	成績証明書		<input type="radio"/>	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ		<input type="radio"/>	⑨
	経費支弁方法計画書	<input type="radio"/>		⑩
	パスポートのコピー		<input type="radio"/>	⑪
	在留カードの表面・裏面コピー		<input type="radio"/>	⑫
	論文等、論文等の要旨 ※本研究科博士前期課程の修了見込者は不要		<input type="radio"/>	⑬
	日本語能力試験又は日本留学試験の関係書類 ※15ページ参照。		<input type="radio"/>	⑮
	出願書類チェックリスト	<input type="radio"/>		⑯

- ※ 一般・社会人特別（一種）・3年早期卒業予定者入試志願者であっても、日本国外の国籍を有する者（特別永住者を除く）は、外国人留学生入試と同じ書類を提出してください。
- ※ 出願資格審査を受ける必要のある者は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入のうえ出願書類と一緒に提出してください。
- ※ 過年度に本研究科入試を受験された方や今年度Ⅰ期・Ⅱ期共に受験される方でも各回の入試ごとに証明書をご提出ください。

5. 出願手続

(1) 出願方法

入学検定料納入後、角型2号封筒（240mm×332mm）を各自で用意し、封筒表面にダウンロードした出願用宛名用紙を貼付して、郵便局から「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。一般・社会人特別（一種）・3年早期卒業予定者入試と外国人留学生入試では出願先が異なりますので、送付先のキャンパスを間違わないよう注意してください。

なお、海外から出願する場合は、EMSやDHL等、速達で配達状況が確認可能な国際郵便または国際宅配便で送付してください。各出願期間の最終日必着とします。また出願書類の提出にあたっては、できる限り日本に在住する代理人が、出願書類を郵送してください。

- 注 1) 出願書類の受付は、すべて郵送に限ります。
- 注 2) 出願資格を満たしていない者の出願書類は受理しません。
- 注 3) 出願書類について、各種機関・最終出身校・在学校等に事実確認や真偽確認を行う場合がありますので、予めご了承ください。
- 注 4) 出願書類または記載事項に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、判明した時点での資格（出願・合格・入学）が取り消されます。なお、その場合も入学検定料等は返還しません。
- 注 5) いったん提出された書類は、返還、差し替えはできません。

(2) 出願書類の記入方法

記入上の注意

1. 黒のボールペン（消せるボールペン不可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. B～D票(検定料振込用紙)は切り離さず記入してください。
4. 年号は西暦を使用してください

① A票（入学試験志願票・受験票）

27ページの「A票の記入方法」を参照のうえ、記入してください。

② カラー写真

出願前3か月以内に撮影したカラー写真（4cm×3cm）2枚（同一写真）を入学試験志願票（A票）と入学志願書に貼付してください。

- ア 光沢仕上げ、正面、上半身、脱帽、背景及び枠なし（スナップ写真・カラープリンター出力写真は不可です。）
- イ 受験時に眼鏡着用の者は、眼鏡着用の写真をご用意ください。
- ウ 提出された写真を利用して、入学後、在学期間を通して使用する学生証を作成します。

※ 日本国から出願する者のうち、受験のための短期滞在のビザを取得するため、本学の受験許可証の発行を希望する者は、この他に同一の写真1枚（4cm×3cm）が必要となります。（38ページ「ビザ（査証）について」を参照）

③ B 票（振込連絡票）

- ア 検定料振込用紙のB票（振込連絡票）は、検定料納入後、金融機関の収納印が押されていること、又は収納証明書が貼付されていることを確認し、送付してください。
イ 課程・研究科・専攻・希望する研究領域・氏名（フリガナ）を間違いなく記入してください。

※ 詳細については、32ページ「入学検定料の納入」を参照してください。なお、海外送金を希望する者は、送金する前に中野教務事務室へ連絡してください。連絡がないと入金の確認ができず、手続完了となりません。

④ 入学志願書

日本国外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）は、必ず外国籍用の入学志願書（⑤入学志願書（外国籍用）を参照）を使用してください。

- ア 課程・研究科・専攻・希望する研究領域を間違いなく記入してください。
※ 希望する研究領域名は「コース・専修」の欄に記入してください。
イ カラー写真を貼付してください。
ウ 緊急連絡先は、昼間、確実に連絡がとれる方の氏名・間柄・電話番号（携帯電話番号可）を記入してください。
エ 希望指導教員名欄は、入学後、研究指導を希望する教員を「研究指導担当教員一覧表」から選定のうえ、教員名を正確に記入してください。博士前期課程の志願者のみ、第2希望まで記入可能です。
※ 第2希望を記入する場合、第1希望と同じ研究領域の教員に限り記入することができます。
その際、第1希望、第2希望が分かるように記入してください。
※ 指導教員の決定は、研究科で行います。
※ 博士後期課程を志願する者の希望指導教員の受験許可印は不要です。
オ 研究テーマ欄は入学後の研究テーマを記入してください。
カ 学歴欄は出身（見込みを含む）大学等、すべて記入してください。科目等履修生・聴講生・研究生等もすべて記入してください。年号は西暦を使用してください。
キ 卒業・修士論文題名欄で、卒業・修士論文のない者は欄に斜線を入れてください。修士論文に代えてリサーチ・ペーパー等を提出した者は、その旨を明記したうえ、題名を記入してください。
ク 職歴にアルバイトは含みません。

⑤ 入学志願書（外国籍用）

- ア 課程・研究科・専攻・希望する研究領域を間違いなく記入してください。
※ 希望する研究領域名は「コース・専修」の欄に記入してください。
イ カラー写真を貼付してください。
ウ 緊急連絡先は、昼間、確実に連絡がとれる方の氏名・間柄・電話番号（携帯電話番号可）を記入してください。
海外在住の留学生は、志願者についてよく知っている人物で日本在住の方の氏名・電話番号を記入してください。
エ 希望指導教員名欄は、入学後、研究指導を希望する教員を「研究指導担当教員一覧表」から選定のうえ、教員名を正確に記入してください。博士前期課程の志願者のみ、第2希望まで記入可能です。
※ 第2希望を記入する場合、第1希望と同じ研究領域の教員に限り記入することができます。
その際、第1希望、第2希望が分かるように記入してください。
※ 指導教員の決定は、研究科で行います。
※ 博士後期課程を志願する者の希望指導教員の受験許可印は不要です。
オ 研究テーマ欄は入学後の研究テーマを記入してください。
カ 学歴欄は小学校入学から出身大学等（卒業・修了見込みも含む）、日本語学校在学歴も含み、すべて記入してください。科目等履修生・研究生・聴講生等もすべて記入してください。
(ダブルディグリー制度を利用している場合：正規の就学年数には本来、卒業・修了までにかかる年数を記入し、在学年数には、実際に通う年数を記入してください。)
キ 卒業・修士論文題名欄で、卒業・修士論文のない者は欄に斜線を入れてください。修士論文に代えてリサーチ・ペーパー等を提出した者は、その旨を明記したうえ、題名を記入してください。

- ク 職歴にアルバイトは含みません。
- ケ 日本国外からの出願者（特別永住者は除く）は、受験許可証の要・不要のいずれかを○で囲んでください。ただし、出入国管理及び難民認定法により、一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている場合は、「受験許可証」は不要のため、申し込みがあったとしても発行はいたしません。
- 【査証免除国（外務省 HP 参考）： <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html>】

⑥ 研究計画書

所定書式（A4 判横書き、40 字 × 35 行、10.5Pt、片面印刷）を用いて、以下のルールに従い作成し、提出してください。

- ア 希望指導教員名欄は、入学後、研究指導を希望する教員を「研究指導担当教員一覧」から選定し正確に記入してください。
- ※ 博士前期課程の志願者のみ、第 2 希望欄に、第 1 希望と同じ研究領域の教員に限って記入することができます。
- ※ 指導教員の決定は、研究科で行います。
- イ 研究計画（概要）は、博士前期課程は 2,000～2,400 字程度で、博士後期課程は 4,000～5,000 字程度で記述してください。
- ウ 将来の志望進路を 200 字程度で記入してください。

⑦ 推薦書（博士後期課程志願者）

- ア 次の者は、出身大学の学長又は担当教員による推薦書を提出してください。（日本語学校の教員による推薦書は認めません。）
博士後期課程：一般入学試験及び外国人留学生入学試験の志願者で、本学他研究科又は他大学、他大学院の出身者
- イ 日本語又は英語で作成してください。
- ウ 推薦書の書式は自由ですが、下記すべての必須項目が含まれていなければなりません。
【必須項目】
① 推薦者の所属大学名 ② 推薦者の肩書（職名） ③ 推薦者と志願者の関係
④ 日付 ⑤ 署名 ⑥ メールアドレス（推薦者に連絡を取ることができます。）

⑧ 卒業（見込）・修了（見込）証明書、成績証明書

- ア すべての出身大学・大学院の「卒業（見込）・修了（見込）証明書」「成績証明書」の原本を提出してください。
- イ 氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須となります。
- ウ 外国の大学・大学院を卒業・修了した者は、「卒業・修了証明書」は不要です。「成績証明書」及び⑨「学位取得証明書」を提出してください。
- エ 外国の大学・大学院出身者は英語又は日本語による証明書の原本を提出してください。やむを得ず、それ以外の言語で作成されたものしか提出できない場合は、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館、公証処等の公的機関が証明した、日本語の訳文の原本を、証明書原本もしくは certified true copy に添付してください。詳細は、30 ページ「参考 外国の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について」を参照してください。
- オ 編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。
- カ ダブルディグリー制度により 2 つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。
- キ 科目等履修生・研究生・聴講生等も「在学証明書」と「成績証明書」の原本を提出してください。
- ク ただし、博士後期課程受験者で明治大学大学院博士前期課程・修士課程修了者、修了見込者（専門職大学院修了・修了見込者を除く）は学部の卒業・成績証明書は必要ありません。明治大学大学院博士前期課程・修士課程の修了（見込）証明書及び成績証明書のみ提出してください。
- ケ 退学、除籍者は、それがわかる証明書を提出してください。
- コ 婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本を添付してください。

(注) 中国国内の教育機関卒業（見込）・修了（見込）者へ

中国国内の教育機関の卒業者・修了者は、CHSI 又は CHSI 日本代理機構の発行する電子認証報告が必要です。詳細については、30 ページ「参考 外国の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について」を参照してください。
申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うように、早めに手続きを開始するようにしてください。

⑨ 学位取得（見込）証明書（外国の大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）者のみ）

- ア 氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須です。
- イ 外国の大学・大学院を卒業・修了した者は、30 ページ「参考 外国の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について」を参照の上、出身大学・大学院の発行する英語又は日本語の「学位取得証明書（原本）」を提出してください。**中国国内の教育機関の卒業者・修了者は、CHSI の発行する電子認証報告が必要です。**
- ウ 出願時において、卒業見込・修了見込の者は、出身大学・大学院が発行する英語又は日本語の⑧「卒業見込・修了見込証明書（原本）」「成績証明書（原本）」及び「学位取得見込証明書（原本）」を提出してください。**（卒業・修了後は、速やかに既卒業者・修了者と同じ手続きをしてください。）**
- エ 学位を取得していない場合は、事前の出願資格審査が必要となる場合がありますので、中野教務事務室（37 ページ、問い合わせ先を参照）に早めに問い合わせてください。

⑩ 経費支弁方法計画書（日本国籍以外の国籍を有する志願者〔特別永住者を除く。〕のみ）

- ア 課程・研究科・専攻・希望する研究領域を間違いなく記入してください。
- イ 本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が 1 年間の学費・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。
- ウ 1 年間の学費については、39 ページ「入学諸費用等について」を参照してください。
- エ 本学進学の際にビザを取得又は更新する際に、入国管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要になります。証明ができない場合、ビザが発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画したうえで、出願してください。

⑪ パスポートのコピー（日本国籍以外の国籍を有する志願者〔特別永住者を除く。〕のみ）

「氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ」のコピーを提出してください。

⑫ 在留カードの表裏コピー（日本国籍以外の国籍を有する志願者〔特別永住者を除く。〕のみ）

表面と裏面両方のコピーを提出してください。
出願時点での在留カードを更新中の場合は、「出願書類チェックリスト」の備考欄に申請日を記入し、更新でき次第、更新後の在留カードの表面と裏面両方のコピーを提出してください。

⑬ 論文等、論文等の要旨（博士後期課程志願者のみ）

博士後期課程の志願者は以下に従い、「論文等（最大 3 編。修士論文を含めることができる。）」（写し）および「論文等の要旨」を提出してください。論文等には、必ず志望する研究科・専攻、氏名、作成年月日を明記してください。（論文等を公表している場合は、公表媒体も明記してください。）

■論文等・論文等の要旨の提出部数等 論文等（写し） 各 3 部 、要旨 各 3 部

- ※ 本研究科博士前期課程修了見込者については、在籍時の修士学位請求論文の審査が第 1 次試験を兼ねます。従って、修士論文および修士論文の要旨の提出は必要ありません。
- ※ 他大学大学院および本学他研究科（専攻変更を含む）からの志願者で修了見込者は、合否判定前の修士論文・要旨でも可とし、2026 年 1 月 9 日（金）まで提出を認めます。
- ※ 要旨は、A4 判、日本語 1,000~3,000 字程度または英語 500~1,500 ワード程度（論文目次を含む）で作成し、氏名を明記した表紙をつけてください。

⑯ 語学能力試験のスコア関係書類（博士前期課程志願者のみ）

- ア 博士前期課程の一般入試、外国人留学生入試、社会人特別（一種）入試、3年早期卒業予定者入試志願者は全員、次のいずれかの語学能力試験のスコアシートまたは成績証明書を提出してください。提出がない場合、原則として受験を認めません。
ただし、3年早期卒業予定者入試志願者のうち、本学国際日本学部生は提出を免除します。
- イ スコアシートまたは成績証明書は、受験予定の筆記試験当日から過去2年以内に受験し、発行されたものが有効です。
- ウ スコアシートまたは成績証明書は、出願期間中に提出してください。出願期間を過ぎてから届いた場合は一切認めません。
- エ 英語については、顔写真のないものの提出は無効です（実用英語技能検定試験除く）。
- オ 母国語が英語（または独語、仏語）である者、および高等教育機関（大学以上）において英語（または独語、仏語）のみで学位取得できるコースで学位を取得した者（見込み含む）は提出不要です。（このことを証明する書類を提出してください。）
- カ 複数の成績を有している場合は、自身に最も有利になると思われるスコアシートまたは成績証明書を提出してください。
- キ 合格証明書の原本は、筆記試験日に返却します（TOEIC、TOEFL-iBT、実用英語技能検定を除く）。

■ TOEIC (L&R)

<必要書類>

以下のいずれかの方法で、TOEIC (L&R) Official Score Certificate を提出してください。

- ① 紙の公式認定証の原本及び写しを郵送で提出する。※原本は返却しません。
- ② デジタル公式認定証の PDF 版を A4 サイズの紙に印刷したもの郵送で提出する。【日本国内での受験者のみ/スコア確認用の QR コードが付されているものに限る】

■ TOEFL-iBT

<必要書類> （次の①と②の両方を提出してください。）

TOEFL iBT Home Edition、ITP は対象外です。 TOEFL-iBT Paper Edition は対象となります。

※TOEFL-iBT のスコアは、Test Date スコアのみ有効とします。MyBest スコアは使用しません。

- ① Institutional (Official) Score Report

※試験実施団体である ETS (Educational Testing Service) から明治大学大学院に直接郵送されるように手続きしてください。

※ETS から直送された Institutional (Official) Score Report は返却しません。

◎ Institutional (Official) Score Report の発行手続きについて

申請に必要なコード番号	明治大学大学院の Institution Code : <u>5132</u>
-------------	-----------------------------------------

国際日本学研究科の Department Code : <u>99</u>

注 1) 「Institutional (Official) Score Report」は、請求してから送付されるまで、かなりの日数を要することがあります。ETSへの請求は提出期限の6週間以上前を目途に行ってください。

注 2) Institution Code は必ず 5132 と記入してください。 「Meiji University : DI コード 0413」で請求しないでください。

注 3) スコア請求方法については ETS Japan 又は ETS のホームページを参照してください。

② スコアの証明書番号 Appointment number(Registration number)と本学への直送手続日、受験日を出願書類チェックリストに記入してください。

【TOEFL 受験後に申請する場合】

ETS Web サイト「My TOEFL Home」における Test taker report に記載されています。

【TOEFL 受験前に申請する場合】

ETS Web サイト「My TOEFL Home」のスコア送付確認画面から『View My Orders』で確認してください。

■実用英語技能検定

<必要書類>

合格証明書（原本）または英検 CSE スコア（原本） ※原本は返却しません。

■IELTS (Academic Module) Overall Band Score

<必要書類>

Overall Band Score を確認可能な IELTS 公式の成績証明書（Test Report Form）のコピー

※IELTS Indicator, IELTS Online, IELTS one skill Retake は対象外です。

■ドイツ語技能検定試験

<必要書類> (次の①と②の両方を提出してください。)

- ① 2 級以上の合格証書（原本）
- ② 2 級以上の合格証書のコピー

■ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験

<必要書類> (次の①と②の両方を提出してください。)

- ① Goethe-Zertifikat B1 または Zertifikat Deutsch (ZD) B1 レベル以上のゲーテ・インスティトゥート語学証明書（原本）
- ② Goethe-Zertifikat B1 または Zertifikat Deutsch (ZD) B1 レベル以上のゲーテ・インスティトゥート語学証明書のコピー

■実用フランス語技能検定試験

<必要書類> (次の①と②の両方を提出してください。)

- ① 準 2 級以上の合格証書（原本）
- ② 準 2 級以上の合格証書のコピー

■フランス語学力資格試験 (DELF) / フランス語上級学力資格試験 (DALF)

<必要書類> (次の①と②の両方を提出してください。)

- ① B1 レベル以上の合格証明書（原本）
- ② B1 レベル以上の合格証明書のコピー

**(15) 日本語能力試験 (N1) の合格証明書 (スコアが分かるもの) または
日本留学試験「日本語」科目の『成績確認書』・『成績通知書』**

日本の大学・大学院を卒業・修了せずに外国の大学または大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、以下のいずれかの書類を、指定された期日までに必ず送付してください。ただし、日本の大学・大学院のいずれかを、日本語で授業を受けて、卒業・修了（見込みを含む）した者は免除（日本語学・日本語教育学を除く）します。詳しくは 9、15 ページ「日本語能力について（出願の条件）」を参照してください。

- ア. 国際交流基金と日本国際教育支援協会共催の「日本語能力試験 (N1)」の 2023 年度以降の「認定結果及び成績に関する証明書」(スコアが分かるもの) の原本、または「合否結果通知書」、「認定書」のいずれかの原本とコピーを提出してください。※提出された成績のうち、「合否結果通知書」または「認定書」の原本は筆記試験日に返却します（「認定結果及び成績に関する証明書」については返却しません）。
- イ. 日本学生支援機構実施の「2024 年度日本留学試験」もしくは「2025 年度日本留学試験」の「日本語」科目の『成績確認書』または『成績通知書（原本とコピー）』を提出してください。原本は筆記試験日に返却します。

(16) 3 年早期卒業予定証明書（3 年早期卒業予定者入学試験志願者のみ）

卒業見込証明書に代えて、3 年早期卒業予定者であることが分かる証明書を提出してください。書式等については、所属学部の事務窓口等でご相談ください。

(17) 出願書類チェックリスト

提出した書類はすべて提出欄にチェックして提出してください。

A 票の記入方法

課程	博士前期・博士後期のいずれかを○で囲んでください。			
研究科、専攻、研究領域	間違いなく記入してください。「コース・専修・系」の欄には、希望する研究領域名を記入してください。			
研究科コード	該当する4桁を次から選び、記入してください。			
	研究科	専攻	博士前期課程コード	博士後期課程コード
	国際日本学	国際日本学	4911	5911
氏名	<p>戸籍、住民票に記載の氏名を楷書で記入してください。 外国人留学生の方は、住民票又はパスポートと同一の綴りのアルファベット（大文字）氏名〔姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に〕を記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。</p>			
生年月日	西暦で記入し、月日が1桁の場合は、十の位に0をつけて記入してください。			
性別	男「M」、女「F」のいずれかを○で囲んでください。			
住所 (受験票送付先)	<p>日本国内の住所を記入してください。本人が日本国内にいない場合は、代理人や代理機関の住所・名前を記入してください。（受験票・入学手続書類の送付先です。）また、出願書類の不明な点を確認する場合にも使用するので、迅速かつ確実に連絡がとれる宛先を記入し誤記や不備のないよう十分注意してください。</p> <p>※「丁目」「番地」「号」などはハイフン「-」でつないで記入してください。 ※電話番号は左づめにし、局番の区切りはハイフン「-」を記入してください。(携帯電話番号可)</p>			
カラー写真貼付欄	裏面に氏名を記入したうえ、剥がれないようにしっかりと貼付してください。			
最終出身大学 最終出身大学院	<p>最終出身校を記入してください。 博士後期課程受験者は、大学・大学院とも記入してください。</p>			
卒業年月 修了年月	西暦で記入し、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1 卒業見込、修了見込 2 卒業、修了			
本学・他大学	出身大学（大学院）について、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1 明治大学 0 他大学			
大学種類	<p>大学種類について次の番号から選び、記入してください。 なお、飛び入試受験者は「5 その他」を選択してください。</p> <p>1 国立（日本） 2 公立（日本） 3 私立（日本） 4 外国 5 その他</p>			
現職	現在の職業について、会社名及び就業年月を記入してください。			
職種	現在の職業について、職種を次から選び、その2桁の数字を記入してください。			
	01 営業	08 生産管理		
	02 経理	09 施工		
	03 調査企画	10 商品企画		
	04 人事労務	11 一般事務		
	05 研究開発	12 システムエンジニア		
	06 設計	13 教員		
	07 生産技術	20 その他		

業種	現在の職業について、業種を次から選び、その2桁の数字を記入してください。 01 製造業 (食料品、衣服、木製品、化学工業製品、ガラス製品、金属製品、機械器具製品等) 02 出版・印刷・放送・広告 (新聞業、出版業、印刷業、広告代理店、テレビ局) 03 電気・ガス・熱供給・水道業 (電気、ガス、熱を媒体とするエネルギー、水道) 04 運輸・通信業 (鉄道業、道路旅客運送業、旅行業、通信業) 05 卸売業 (総合商社、一般商社) 06 小売業 (百貨店、スーパー、飲食店、自動車、家電製品、医薬品等) 07 金融業 (銀行、信用金庫、証券業、生命保険、損害保険) 08 教育 (小・中・高等学校、大学、教育機関、予備校) 09 サービス業(ニュース供給業、法律・公認会計士・税理士事務所、経営コンサルタント、ホテル、娯楽施設) 10 医療・保健業 (病院、保健衛生、廃棄物処理業) 11 非営利団体 (社会保険、学術研究機関、政治・経済団体) 12 公務 (国家公務、地方公務) 20 その他
指導教員名	入学後、研究指導を希望する教員を「研究指導担当教員一覧表」から選定のうえ、教員名を正確に記入してください。 ※博士前期課程の志願者のみ、第2希望欄に、第1希望と同じ研究領域の教員に限り記入することができます。 ※指導教員の決定は、研究科で行います。
筆記試験 受験科目	筆記試験受験科目欄は、1 時限目・2 時限目とも記入不要です。面接は記入しないでください。 ※専門科目・小論文は希望指導教員の所属する研究領域の問題を必ず解答すること。
最終学生番号	明治大学出身者のみ 10 枠の学生番号を記入してください。
入学形態 1	次の記号から選び記入してください。 F 一般入試 G 外国人留学生入試 H 社会人特別（一種）入試 I 学内選考入試 L 3年早期卒業予定者入試
入学形態 2	外国籍の受験者でビザの種類が「留学」の場合、1 私費、2 国費のどちらかを○で囲んでください。
入学形態 3	入学形態 1 で「H 社会人特別入試」の場合、次の番号から選び記入してください。 1 派遣 2 休職 3 無職 4 その他
区分	次の番号から選び記入してください。 1 卒業見込、修了見込 2 学部3年生から 3 社会人（入学のため休職予定） 4 社会人（企業派遣） 5 社会人（入学のため退職予定） 6 社会人（在職その他〈主婦・定年退職者も含む〉） 7 その他（大学以外の教育機関・無職・浪人も含む）

学 費	該当のコードを次から選び、その2桁を記入してください。 【博士前期課程】 01 他大学出身者 71 明治大学出身者		【博士後期課程】 01 他大学卒業後、他大学院修了者 71 明治大学大学院修了者 72 明治大学卒業後、他大学院修了者
実施期	次の番号から選び記入してください。 1 2025年12月以前の入学試験受験者 2 2026年1月以降の入学試験受験者		
奨学金	記入不要		
国・地域	外国籍の受験者は、次ページの表を参照し、国・地域とそのコードを記入してください。		
入学希望学年	記入不要		

受験票の記入方法 ※点線は切り取らずに提出してください。

課 程	博士前期・博士後期のいずれかを○で囲んでください。
研究科、専攻、 研究領域	間違いなく記入してください。「コース・専修・系」の欄には、希望する研究領域名を記入してください。
受験科目	受験科目欄は、1時限目・2時限目とも記入不要です。
氏 名	戸籍、パスポートあるいは住民票に記載の氏名〔姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に〕を楷書で記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。
受験番号	記入不要
大学取扱者印	記入不要

【国・地域コード】

国・地域		国・地域		国・地域		国・地域		国・地域	
韓国	201	スリランカ	216	ノルウェー	406	フィンランド	421	アラブ首長国連邦	603
朝鮮	202	モンゴル	217	スイス	407	ブルガリア	422	オーストラリア	701
中華人民共和国	203	ブータン	218	オーストリア	408	セルビア	423	ニュージーランド	702
台湾	204	ミャンマー	219	オランダ	409	トルクメニスタン	424	エジプト	801
マレーシア	205	シンガポール	220	ベルギー	410	ブラジル	501	モロッコ	802
インドネシア	206	香港	221	スペイン	411	チリ	502	タンザニア	803
タイ	207	マカオ	225	トルコ	412	アルゼンチン	503	エチオピア	804
フィリピン	208	アメリカ合衆国	301	ロシア	413	ペルー	504	スーダン	805
ベトナム	209	カナダ	302	クロアチア	414	ボリビア	505	リビア	806
カンボジア	210	メキシコ	303	エストニア	415	パラグアイ	506	チャド	807
ラオス	211	イギリス	401	キルギス	416	ドミニカ	507	ナイジェリア	808
インド	212	ドイツ	402	ウクライナ	417	ホンジュラス	508	ガーナ	809
パキスタン	213	フランス	403	ウズベキスタン	418	エルサルバドル	509	その他	999
ネパール	214	イタリア	404	ギリシャ	419	イラン	601		
バングラデッシュ	215	スウェーデン	405	ルーマニア	420	サウジアラビア	602		

【参考】外国の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合の成績証明書、
学位取得(見込)証明書及び卒業(見込)・修了(見込)証明書について

1. 中国国内※の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合 ※ 香港、台湾、マカオを除く。

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内の CHSI (教育部学歴認証センター) (北京市)、CHSI の日本代理機構、または CSSD (教育部学生服务与素质发展中心) において行われます。

(1) 出願時において、卒業見込・修了見込の者

在籍大学・大学院が発行する以下①～③すべての証明書原本（英語又は日本語）を提出してください。

- ①「学位取得見込証明書」
- ②「卒業（修了）見込証明書」
- ③「成績証明書」（出願締切日から3か月以内のもの）

※ 出願後に卒業・修了した方は、速やかに「(2) 卒業者・修了者」に記載のものを提出してください。

(2) 卒業者・修了者 ・・・ 以下の①と②の両方を提出

以下の機関において発行される証明書をメールで提出してください。

① 学位取得証明書・・・『中国高等教育学生信息網（CHSI）』で申請

出願者自身で申請してください。英文又は中文により、以下のいずれかの電子認証報告メールを CHSI から直接、明治大学大学院国際日本学研究科へ送信されるよう申込を行ってください。CHSI から直接本学に届くメールに限り有効とします。出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効となります。

- ・「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」(英文)
- ・「中国高等教育学位在线验证报告」(中文)

〈電子認証報告メール送信先〉 ggjs@mics.meiji.ac.jp (明治大学大学院国際日本学研究科 入試係)

② 成績証明書・・・『中国高等教育学生信息網（CHSI）』で申請

URL⇒ https://www.chsi.com.cn/en/help/howtoapply_ep_en.jsp Verification Report で申請 (※Online ではありません)

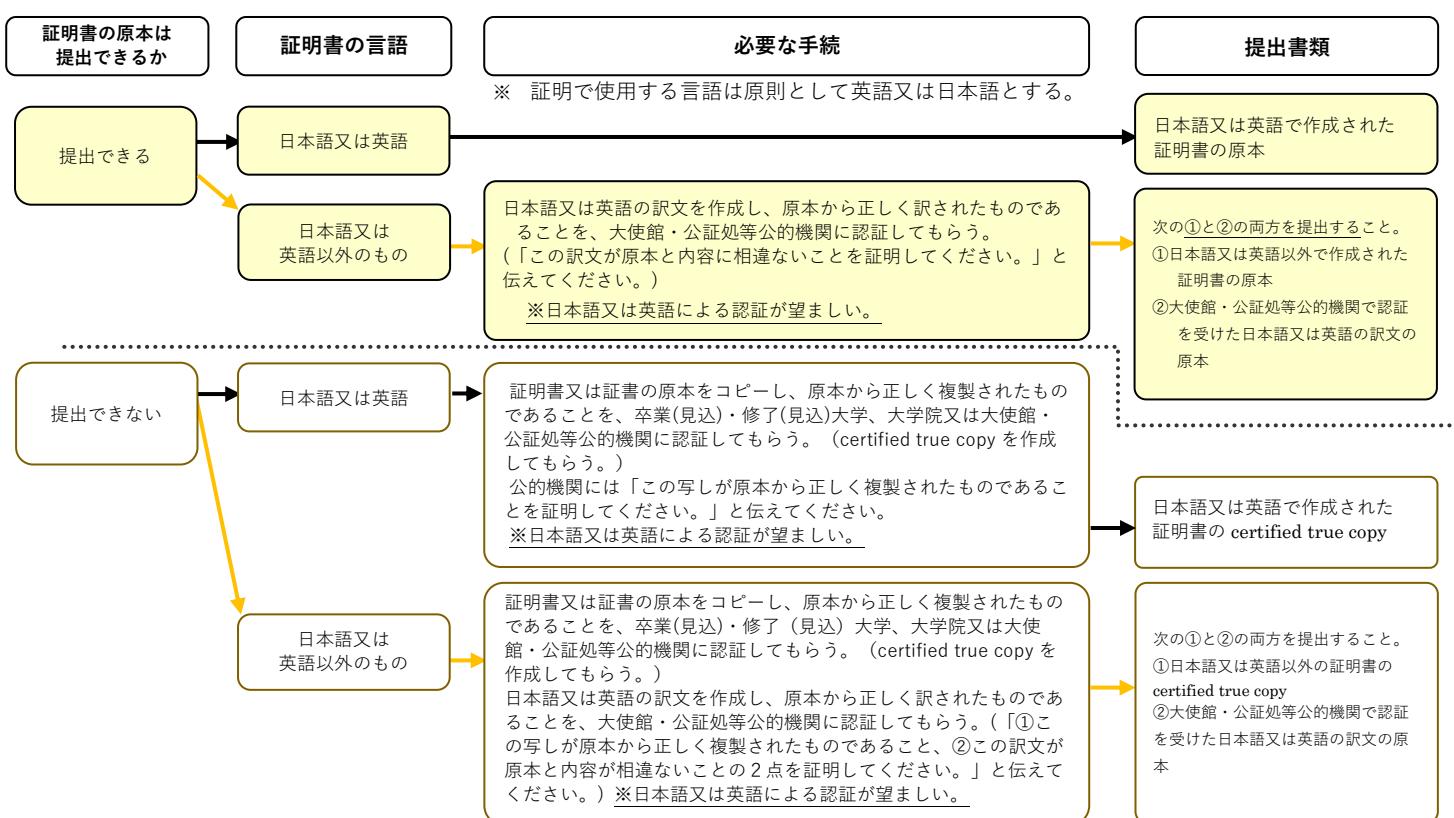
出願者自身で申請してください。英文で認証を受けてください。電子メールで Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript が明治大学大学院国際日本学研究科へ直接送信されるよう申請を行ってください。CHSI から直接本学に届くメールに限り有効とします。出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効となります。

〈電子認証報告メール送信先〉 ggjs@mics.meiji.ac.jp (明治大学大学院国際日本学研究科 入試係)

【注意】どちらの機関も、申請には所定の手数料が必要です。(詳細については、それぞれのホームページで確認してください。) なお、証明書は発行元から明治大学に直送する手続きを取ってください。申請から発行までには時間がかかります。

出願期間に間に合うよう、Ⅰ期入試は6月中に、Ⅱ期入試は11月中に手続きを開始するようにしてください。

2. 1 以外の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合



(3) 入学検定料の納入

入学検定料は 35,000 円です。（消費税は課税されません）

金融機関窓口（ゆうちょ銀行は除く）あるいは指定のコンビニエンスストアで納入するか、又はクレジットカードで支払いを行ってください。

納入期間・期限については、7 ページ「入学試験日程一覧」を参照してください。入学検定料は出願期間前にも振り込むことができます。

出願締切日を過ぎた振り込みは無効となりますので、注意してください。

いったん納入した入学検定料は返還いたしません。

1 金融機関から納入する場合 ※ゆうちょ銀行は取扱いできません。

- ① 検定料振込用紙（B 票～D 票）に必要事項を記入後、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。（振り込みは現金に限ります。小切手等の有価証券は不可。また ATM 等は使用しないでください。）振り込みの際、手数料が必要となりますが、検定料振込依頼書（D 票）に記載されている銀行の本支店から振り込む場合は無料です。
なお、D 票の研究科コードにつきましては、27 ページを参照してください。
- ② 金融機関の窓口から入学検定料を納入後、B・C 票を受け取り、B・C 票の 2ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを、必ず確認してください。 収納印がない場合は、入学検定料を納入したことにはなりませんので、十分注意してください。
- ③ 取扱金融機関の収納印をもって、本学の領収とします。領収書はあらためて発行しませんので大切に保管してください。 C 票は、切り離して本人が保管してください。

2 コンビニエンスストアを利用する場合

- ① 「ローソン」「セブン-イレブン」「ファミリーマート」「ミニストップ」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。
なお、コンビニエンスストアでの納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ (<https://e-shiharai.net/>) でご確認ください。
また、入学検定料納入期間以外、利用できません。
- ② コンビニエンスストアでの納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ (<https://e-shiharai.net/>) でご確認ください。
- ③ 店頭で支払後に発行される「入学検定料・選考料 取扱明細書」の『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B 票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。
- ④ コンビニエンスストアが発行する「領収書」をもって本学の領収とします。
領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。
- ⑤ C 票・D 票は出願の際には不要です。

3 クレジットカード・中国決済を利用する場合

- ① 「VISA」「マスターカード」「JCB」「アメリカンエキスプレス」「銀聯（ユニオンペイ）」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。

なお、クレジットカード・中国決済での納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。

また、入学検定料納入期間以外、利用できません。

- ② クレジットカード・中国決済での納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。
 - ③ 支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して『収納証明書』を印刷してください。『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。
 - ④ 「領収書」は発行されません。申込内容照会画面を印刷し、大切に保管してください。
- なお、クレジットカードの中国決済の明細書には「E-支払い事務局」と明記されます。
- ⑤ C票・D票は出願の際には不要です。

（4）受験及び修学における配慮について

心身等に障がいがあり、受験上及び修学上の配慮を希望する方は、Ⅰ期入試は6月20日（金）・Ⅱ期入試は11月14日（金）までに中野教務事務室に申し出てください。

受験生からの申請に基づく審査の上、障がいや疾病等の程度に応じた措置を講じます。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。また、期限までに申し出を行っていない場合は、試験当日の配慮が行えません。

6. 入学試験当日の注意

- (1) 出願手続に不備のなかった者には、受験番号を付して受験票を送付します。試験当日は必ず受験票を持参してください。
- (2) 試験を始める前に写真照合を行いますので、研究科から指定された時刻までに所定の席に着席してください。
- (3) 試験開始後、30分を過ぎて入室した者の受験は認めません。
- (4) 筆記試験場及び集合時刻は、受験票発送の際に通知します。
- (5) 面接試問についての詳細は、筆記試験当日に発表します。
- (6) 携帯電話・スマートフォン・ウエアラブル端末などは、時計として使用することはできません。他の受験生の迷惑となるので、アラームを設定している人は解除した上で、通信機能や撮影機能がある機器は全て電源を切ってカバンにしまってください。試験中にカバンの中で音が鳴った場合は、監督者が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出します。
- (7) 不正行為があるとみなされた場合は、それ以降の受験を認めません。

(注)

1. 受験票は入学試験の1週間前までに届くよう発送します。受験日の1週間前になんでも受験票が届かない場合は、中野教務事務室（国際日本学研究科担当）に連絡してください。
2. 受験票を紛失した場合は、入学試験当日に受験するキャンパスの事務室（中野キャンパス：低層棟3階）で再発行します。発行手続の時間を考慮し、早めに来校してください。
 - ・再発行には、本人確認のため、写真付身分証明書（運転免許証・パスポート・在留カード）の提示が必要となります。
 - ・写真付身分証明書をお持ちでない場合は、健康保険証・年金手帳等を提示していただきます。

- ・試験当日、降雪や事故、台風等による交通機関の混乱が生じた場合、入学試験の実施に関する情報は明治大学の各研究科ホームページでお知らせします。志願した研究科のページで確認してください。
- ・自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更および日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
- ・自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

7. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

8. 合格発表

- (1) 合格発表日時・場所は、7ページ「入学試験日程一覧」を参照してください。
- (2) 合格発表は国際日本学研究科ホームページ上で行います。電話や掲示による発表は行っていません。
詳細は筆記試験当日に発表します。
- (3) 合格者には、発表と同時に、Ⅰ期入試合格者には合格通知書、Ⅱ期入試合格者には合格証及び入学手続書類を入学志願票（A票）に記入されている住所あてに郵送します。大学での直接交付は行いません。

(注)

1. 電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。
2. Ⅱ期入試の入学手続書類は、合格発表後に発送しますので、地域によっては2~3日要する場合もあります。
3. 合格したにもかかわらず、合格通知書、合格証・入学手続書類が手元に届かない場合は、必ず中野教務事務室（国際日本学研究科担当）へ連絡してください。
4. 卒業見込みまたは修了見込みの者が卒業・修了できなかった場合、合格しても入学を認めません。

9. 入学手続

(1) 入学手続書類の送付及び入学手続期限について

入試種別	入学手続書類発送予定日	手続期限
Ⅰ期入試	2025年11月中旬	2025年11月28日（金）
Ⅱ期入試	Ⅱ期入試合格発表日	2026年3月10日（火）

(注)

1. A票に記入されている本人住所へ郵送しますので、発送予定期までに住所等の変更があった場合は、必ず中野教務事務室（国際日本学研究科担当）に連絡してください。
2. 上記の発送予定期を過ぎても、入学手続書類が届かない場合は、必ず中野教務事務室（国際日本学研究科担当）まで連絡してください。
3. 入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

(2) 入学手続について

- (1) 入学手続書類に同封されている「入学手続の手引」を参考に入学手続期間内に所定の手続きを行ってください。
- (2) 入学手続には下記のものが必要となるので、あらかじめ用意しておいてください。
- ア 入学諸費用（金額、納入方法については 39 ページ「入学諸費用等について」を参照のこと）
- イ (a) 日本の大学・大学院を卒業・修了した者
卒業・修了証明書、成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
- (b) 外国の大学・大学院を卒業・修了した者
成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
学位取得証明書（出願時に未提出の者のみ）
- ウ 住民票
- エ 保証人の住民票（日本国籍以外の国籍を有する志願者のみ）

(注)

1. 入学手続期限までに卒業・修了証明書、成績証明書等を提出できない場合は、事前にその旨を連絡することにより、期限の延長を認めています。詳細は「入学手続の手引」を参照してください。
2. その他本学指定様式の書類の提出が必要になります。
3. 日本国籍以外の国籍を有する場合、住民票は在留資格、在留期限の記載を含むもので、手続期限から 3 カ月以内に発行されたものを提出してください。

(3) 保証人について

出願時には保証人は必要ありませんが、合格後、入学手続の際には保証人が必要です。

保証人は、以下の優先順位により届け出てください。

※在留資格が「留学」の方を保証人に選定することはできません。

- ① 日本に居住する父母のいずれか一名
- ② 父母以外の日本に居住し独立の生計を営む親族
- ③ 上記①②の要件に合った保証人が選定できない場合のみ、日本に居住し独立の生計を営む成年者で、学生の指導支援を行うことのできる者

10. 問い合わせ先

問い合わせ内容	担当	電話番号	事務取扱時間
入試要項の公開・過去問題に関すること	中野教務事務室 (国際日本学研究科担当)	03-5343-8039	平日 9:00~11:30 12:30~17:00
出願・受験票・入学検定料返還に関すること			土曜日 9:00~12:00
奨学金に関すること	学生支援事務室奨学金係	03-3296-4208	平日 9:30~16:30 土曜日 9:30~12:00
入学検定料・学費に関すること	財務課学費係	03-3296-4096	平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00
留学生の在留資格・奨学金に関すること	国際教育事務室	03-3296-4141	平日 9:00~11:30 12:30~17:00 土曜日 9:00~12:30
寄付金に関すること	大学支援事務室	03-3296-4057	平日 9:00~11:30 12:30~17:00 土曜日 9:00~12:00

11. 授業時間帯について

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間帯	9:00~ 10:40	10:50~ 12:30	13:30~ 15:10	15:20~ 17:00	17:10~ 18:50	19:00~ 20:40
モジュール※	a b	a b	a b	a b	a b	a b

※ 1つの授業は100分で行いますが、a、bの2つの「モジュール」という50分ごとの単位に区分けします。また、この他に、補助的な時間割として、モーニングモジュール(8:00~8:50)、ランチモジュール(12:35~13:25)、ナイトモジュール(20:50~21:40)があります。

12. 大学院奨学金制度について

大学院研究奨励奨学金

本学大学院に優秀な成績で入学した者のうち、各研究科が独自に定めた選考基準により成績優秀者を選考し、標準修業年限内（博士前期・修士課程は2年間、後期課程は3年間）にわたり、授業料の2分の1相当額を給付する奨学金制度です。選考は、研究科ごとに行うため、本人による出願制ではありません。奨学金の給付により、研究に専念する環境を整えることで、今後研究者としての道を目指す優秀な学生を育成することを目的としています。

当該制度には、博士後期課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金A」と、博士前期・修士課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金B」があり、継続して受給するためには、各年度において各研究科の定め

る継続条件を満たす必要があります。採用者は、日本学生支援機構第一種奨学生及び第二種奨学生への出願も可能です。なお、当該奨学生を受給中に、休学、退学（3月31日付退学を含む）、除籍となった場合、学校処分を受けた場合は、給付金を返還していただきます。また、助手に採用される等の一定の条件に合致した場合には、奨学生の給付は行いません。

詳細は、中野教務事務室（国際日本学研究科担当）にお問い合わせください。

特定研究者育成奨学生

明治大学では、特定の研究課題に専念する機会を付与し、もって学術研究の発展に資する優れた研究者を育成することを目的として、年間学費相当額の奨学生を給付します。奨学生は、各年度において一定の条件を満たすことにより、標準修業年限を上限とし、継続して給付されます。

給付対象となるのは本学大学院に在学し、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（特別研究員DC1及び特別研究員DC2に限る）に採用される者となります。

13. 「明治大学教育振興協力資金」について

明治大学では、全学部学生・大学院生のご父母（一部学生本人）の皆様に、「明治大学教育振興協力資金」へのご協力をお願いしております（一部の方を除く）。

頂戴しました寄付金は、本学の教育・研究の充実・発展に必要な資金として活用いたします。

この寄付金は任意でございますが、ご子息・ご息女の教育・研究環境のさらなる充実に活用させていただきますので、ご協力くださるようお願い申し上げます。

14. ビザ（査証）について

（1）受験ビザ取得について

「受験許可証」の発行を希望する者は、「入学志願書（外国籍用）」の「受験許可証」の欄[要]に○印を付けて、出願用写真のほかに、入学志願票と入学志願書と同一の写真をもう1枚（縦4cm×横3cm）を用意し、出願書類と一緒に送付してください。写真裏面には、志望研究科名と氏名を記入してください。

ただし、入国管理法により一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている場合は、受験許可証は不要です。

【査証免除国（外務省HP参考）：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html>】

- ※ 明治大学から交付された「受験許可証」により、在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行っても必ず許可されるとは限りません。
- ※ ビザの取得や入国に関する手続きは、受験生が個人の責任で行う必要があります。

(2) 留学ビザ取得について

日本に在留する在留資格を有している場合

① 「留学」の在留資格を有している者

在留期間更新許可申請は、在留期間が満了する3か月前から可能です。ただし、在留資格に該当する活動を行うことなく3か月以上滞在すると、在留資格取り消しの対象となりますのでご注意ください。

また、「留学」ビザの在留期間が入学後残っている場合にも、所属する学校に変更があった場合には、変更後14日以内に法務省出入国在留管理庁へ「活動機関に関する届出」を提出することが義務付けられています。

② 「留学」以外の在留資格で日本に滞在していて、「留学」の在留資格取得を希望する者

在留資格変更許可申請をしてください。入学手続き時に、中野教務事務室より「入学許可証」を発行します。この「入学許可証」を使用し、日本国内で「留学」の在留資格に変更することができます。

ただし、「短期滞在」のビザで日本に入国している者は、原則として日本国内における在留資格「留学」への変更が認められないので、一度日本国外へ出て「留学」のためのビザを取得する必要があります。

本学入学前に、日本において日本語教育施設又は専修学校（日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等）に在籍している者は、在留期間更新・資格変更許可申請の際に、出入国在留管理庁から、在籍していた教育機関が交付する出席状況証明書の提出を求められます。在籍状況に問題がある場合は、不許可となることがあります。

日本に在留する在留資格を有していない者

「留学」ビザの取得には、あらかじめ本人又は代理人が、法務省出入国在留管理庁から「在留資格認定証明書（COE）」を取得する必要があります。これを使用して、母国の日本大使館または領事館にて「留学」ビザ発給の申請を行ってください。明治大学による「在留資格認定証明書」の代理申請を希望する者は、入学決定後、速やかに必要書類を国際教育事務室へ提出してください。必要書類の詳細は、合格者向けに案内しています。日本に親族等がいる場合は、「在留資格認定証明書」交付の代理申請を依頼してください。

※ 在留資格認定証明書の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

※ 留学生を対象とする授業料補助及び各種奨学金の多くは、在留資格「留学」の者を対象としています。

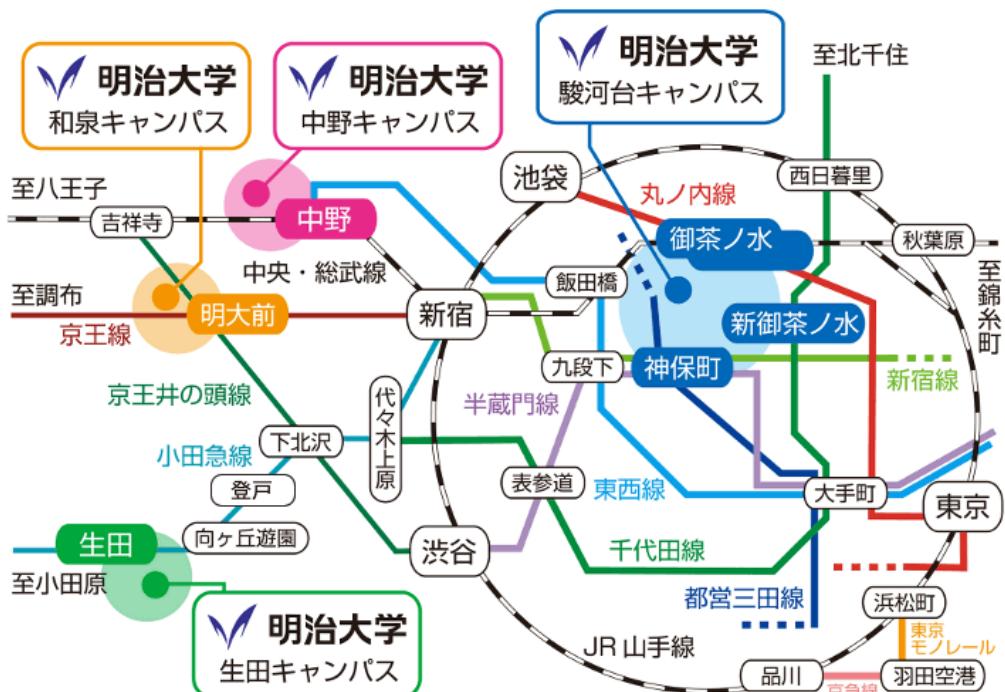
15. 入学諸費用等について

入学諸費用及び入学後の学費等の詳細については、明治大学ホームページに掲載している2026年度入学者の学費等一覧をご参照ください。

<https://www.meiji.ac.jp/suito/gakuhi.html>



16. 中野キャンパスへのアクセス



明治大学 中野教務事務室（国際日本学研究科担当）

- 所在地 〒164-8525 東京都中野区中野4-21-1 明治大学 中野キャンパス
- 連絡先 TEL: 03-5343-8039 FAX: 03-5343-8029 E-mail: ggjs@mics.meiji.ac.jp
- 交 通 JR中央線・総武線、東京メトロ東西線／中野駅 下車 北口より徒歩約8分